

ふるさと教育 取組事例

学校名	雲南市立木次中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合的な 学習の時間	「わくわく未来予想図～将来、ど んな雲南市だったらわくわく 生活できるのか～」	地域の魅力や課題、市役所キャリア 教育政策課、地域自主組織やゲスト ティーチャーの方々
ねらい	地域の良さや課題について考える学習を通して、探究的な学習につな がる資質・能力を高める。		
<p>1 取組の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 小学校でのふるさと学習を共有する。 <ol style="list-style-type: none"> ①小学校での学習を学級全体で共有する。 2 雲南市の良いところをCIRに紹介する。 <ol style="list-style-type: none"> ①雲南市の良さを英語で伝える。 3 わくわく未来予想図。 <ol style="list-style-type: none"> ①地域を元気づける活動をするゲストティーチャーの話から雲南市を活性化するヒントを見つける。家族にも取材する。 ②雲南市の探究テーマについて思考ツールでまとめ共有する。 ③市役所キャリア教育政策課や地域自主組織の方から雲南市の現状について話を聞く。 ④探究テーマを再構築し、プレゼンソフトにまとめる。 ⑤友達やゲストティーチャーの質問や助言を生かして、テーマの実現に向けた提案や具体的な方法を再構築する。 ⑥小グループで探究活動（情報収集・整理、分析、まとめ・提言づくり）をする。 ⑦中間発表会で評価や助言をもとにプレゼン内容を再構築する。 ⑧最終発表会をする。 ⑨学習全体を振り返り、自己の生き方について考え、未来への展望をもつ。 <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p style="margin-left: 20px;">(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が小さい頃から親しんできた地域を学習の対象とし、地域のゲストティーチャーを招くことで、興味や関心をもって、意欲的に学習に取り組むことをねらった。 ・地域の良いところや魅力、課題を生徒自身が再発見することで、地域への一層の愛着を育むことを期待した。 <p style="margin-left: 20px;">(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題解決に向けて探究し提案を考えることは、小学校で行ったふるさと学習を一步進めるものであり、大変意義のある学習であると位置づけた。 ・様々な立場の地域の方々にゲストティーチャーとして学習に関わっていただく取り組みを、主体的・対話的で深い学びの実現につなげようと考えた。 			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）

（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）

- ・木次町および雲南市全体について、地域の方の話を聞いたり調べたりすることでふるさとの現状・課題・展望等について、より自分の身近なこととして深く考えられるようになった。
- ・調べたり聞いたりしたことを提言としてまとめることを通して、地域の活動に協力したり参加したりしようとする意識が高まった。

（学力育成の視点から）

- ・ゲストティーチャーへのプレゼンテーションやそれに対する助言等により、新たな視点が見つかったり、新たな問い（課題）が生まれたりし、再構築によって探究的な学習スタイルの確立につなげることができた。

4 課題や今後の展望

主体的・対話的な学びから深い学びへつなげるための教師の発問や働きかけをさらに精選し、生徒自身が「自分たちの考えは実現可能か」「人のために役立つのか」といった視点から、今一度課題を見直していけるような質の高い学びを追究していかなければいけない。



* 取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

（このデータを HP 等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。）